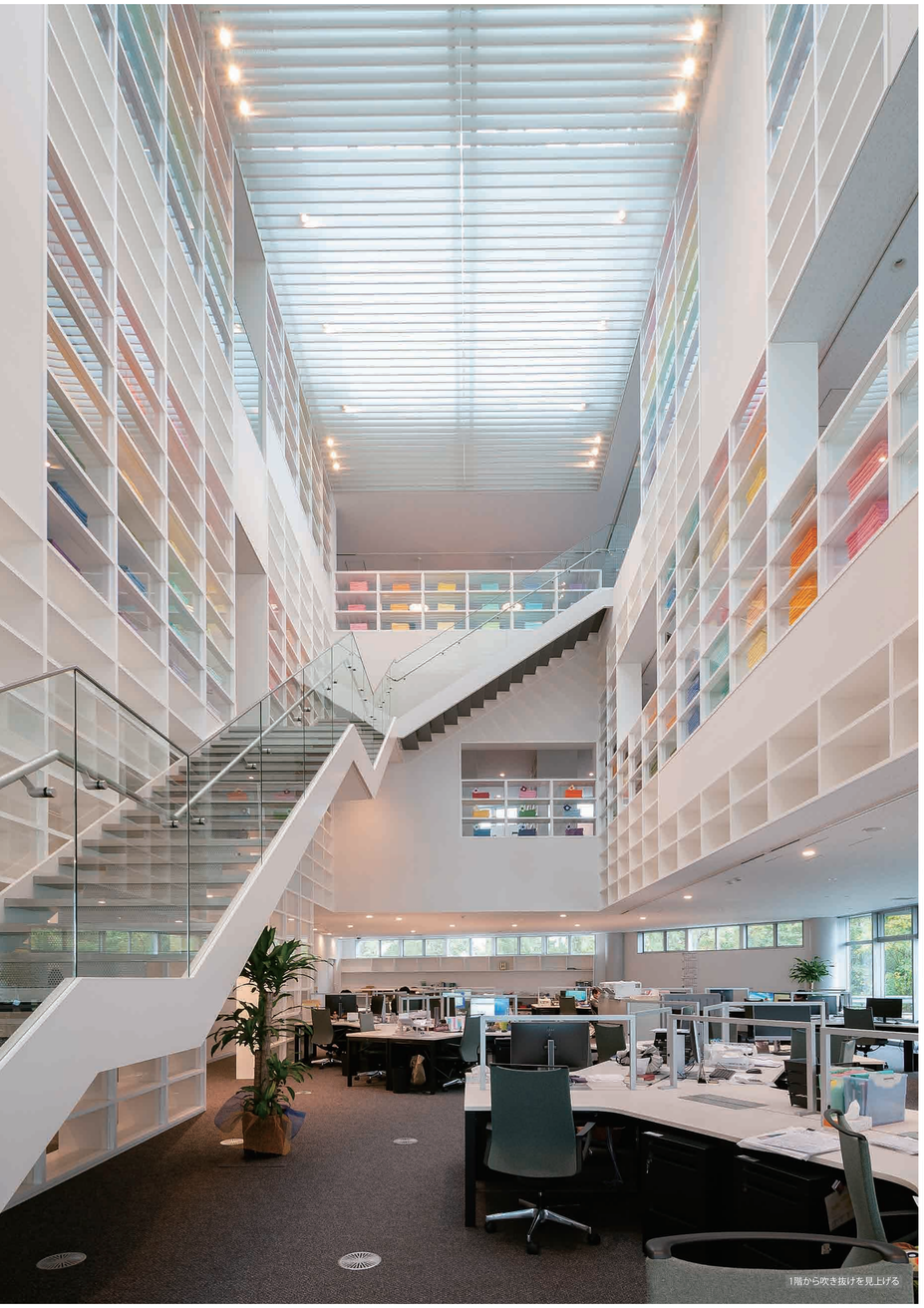
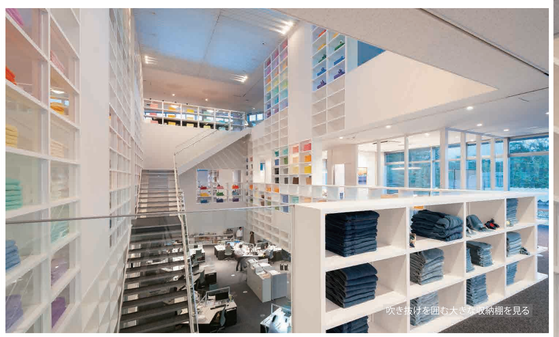
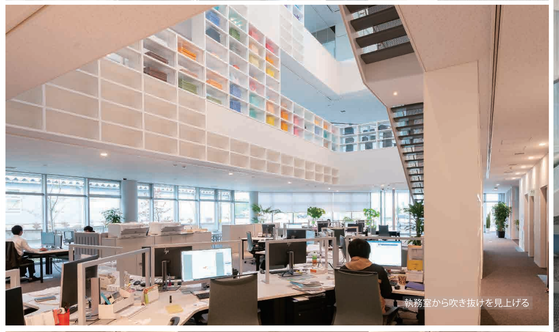
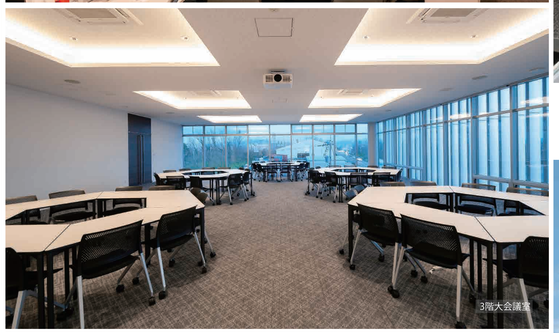
柔らかにタオルで彩られ、タテに繋がる一体感を生み出す執務空間


1階から吹き抜けを見上げる


吹き抜けを囲む大きな収納棚を見る


執務室から吹き抜けを見上げる


3階大会議室

3階コミュニティライブラリーを見る

1階から執務室を見る

自然と対話するカタチ、流線形の外観デザイン

外観写真（昼時）

鳥瞰写真

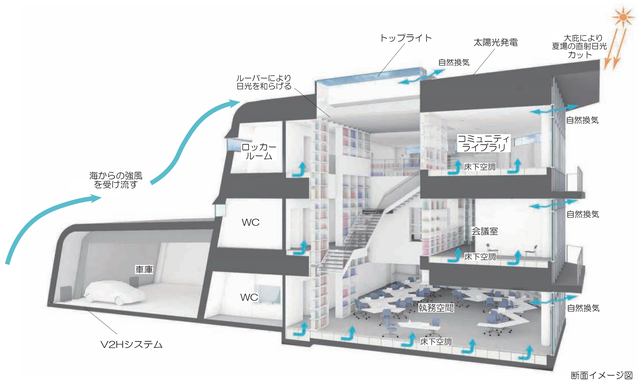
外観写真（夜間時）

重光商事株式会社 本社社屋

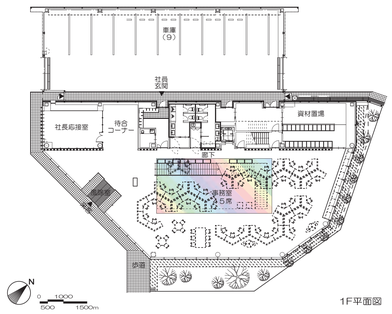
主にタオル等の輸入、販売を行う企業の社屋の建替えである。計画地は金沢市大野町の海岸から１㎞圏内で、冬季は北西から寒風が吹きつけ、塩害の恐れがある地域である。厳しい自然環境への対策として、建物は流線形にて強風を受け流し、塩混じりの雨から外装を守るため庇を周囲にめぐらせた。 また外装の金属素材はチタン亜鉛合金にて、対候性能を高めている。

施主はメガソーラー事業や「リーフ革命」と称して社員にＥＶ車を供与している独自の取組みから、環境負荷低減に関心が高く、本計画は『ZEB：ネット・ゼロ・エネルギー・ビル』取得を前提に、『高断熱化、高効率床吹空調、ナイトパージ、デマンドコントロール、ＬＥＤ照明、太陽光発電、ＢＥＭＳ』など、省エネ・創エネ技術を採用した結果、建物の設計一次エネルギーは基準値より77％の削減となり、石川県初の 『Nearly ＺＥＢ』を取得している。また停電時の電力維持のため太陽光発電とＥＶ車蓄電池の相互電力需給システム『Ｖ２Ｈ』を導入しており、災害時の防災機能を高めている。

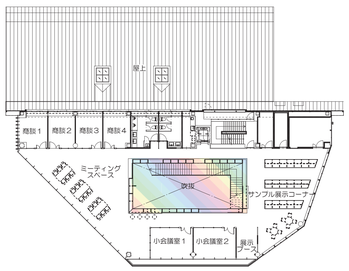
内部空間は３層吹抜により連続的に繋がる一体感のあるオフィス空間とし、社員相互のコミュニティーを図りつつ、吹抜を囲むようにタオル商品の大きな収納棚を設け、独自のＥＣを実現した在庫の豊富さをアピールしている。



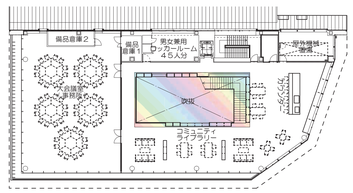
断面イメージ図



1F平面図



2F平面図



3階平面図